

2014年 IBA-boys

[メルボルン国際親善大会]

(平成26年3月25日~4月3日)

[なでしこ]チーム



公益社団法人 少年軟式野球国際交流協会



2014年メルボルン遠征日程表

月 日	曜日	時間	日程内容
3月25日	(火)	8:10 11:10 17:45 21:15	成田国際空港 第1ターミナル4F南ウイング集合(Kカウンター12, 14) 成田空港発 (SQ637便) シンガポール空港着 (到着後空港で夕食, メルボルン行きに乗り換え) シンガポール空港発 (SQ227便)
3月26日	(水)	7:50 9:00 17:00 17:30	メルボルン空港着 通関後バスにて市内観光(途中昼食) ウェイバリー球場へ移動 ホームステイ家族の出迎え、役員はホテルへ
3月27日	(木)	8:00 8:30 9:30 13:00 15:00	ホームステイ家族が送迎(Waverly Baseball Ground) 第10回全オーストラリア国際大会・開会式 (Waverly Baseball Ground) 第一試合(9:30-11:00) / 昼食 第二試合(13:00 - 14:30) 歓迎会レセプション
3月28日	(金)	10:00 11:00 12:30 13:30	球場(Essendon Baseball Ground)集合(ホームステイ家族が送迎) 第三試合(11:00-12:30) 昼食(12:30 - 13:30) 第四試合(13:30 - 15:00)
3月29日	(土)	9:30 10:30 11:30 12:00 13:00 15:20	ベルグレイブ駅集合 (ホームステイ家族の送迎) パフティングビリー蒸気機関車搭乗 エメラルド駅到着後昼食 球場へ移動 (Upway Baseball Ground) 第五試合(13:00 - 14:30) 第六試合(15:20 - 16:50)
3月30日	(日)	午前中 13:00 14:00 16:00	ホームステイ家族とフリーな時間 (買い物等) 球場(Upway Baseball Ground)集合(ホームステイ家族が送迎) 第七試合(14:00 - 15:30) 第八試合(16:00 - 17:30)
3月31日	(月)	10:00 11:00 12:30 13:30 15:30	球場(Waverly Baseball Ground)集合(ホームステイ家族が送迎) 第九試合(11:00-12:30) 昼食(12:30 - 13:30) 第十試合(13:30 - 15:00) 最終戦 表彰式・閉会式
4月1日	(火)	終日	選手はホームステイプログラム(終日ホームステイ家族との自由時間)
4月2日	(水)	午前中 13:00 14:30 16:45 21:45 23:55	ホームステイプログラム & 荷物チェック ウェイバリー球場集合後、メルボルン国際空港に移動 メルボルン国際空港でチェックイン メルボルン国際空港発(SQ228) シンガポール着後 乗り換え シンガポール発 (SQ228)
4月3日	(木)	8:00 9:30	成田国際空港 第1ターミナル着 (SQ638) 通関後、解団式・解散

メルボルン国際交流大会 2014 成績表

No.	月日	鷺宮 (久喜)			なでしこ			サムライ		
1	3/27	カンガ ルーズ	○	5-2	サムライ	○	5-3	なでしこ	●	3-5
2	3/27	サムライ	●	0-4	ホワイト	○	16-0	久喜	○	4-0
3	3/28	なでしこ	●	2-4	久喜	○	4-2	ブルー	○	15-0
4	3/28	ブルー	●	5-8	カンガ ルーズ	●	5-8	ホワイト	○	8-0
5	3/29	ホワイト	○	11-5	ブルー	○	4-1	カンガ ルーズ	○	6-2
6	3/29	カンガ ルーズ	○	14-2	サムライ	●	2-8	なでしこ	○	8-2
7	3/30	サムライ	○	4-0	ホワイト	○	8-1	久喜	●	0-4
8	3/30	なでしこ	○	7-2	久喜	●	2-7	ブルー	○	18-1
9	3/31	ブルー	○	27-1	カンガ ルーズ	○	11-10	ホワイト	○	15-1
10	3/31	ホワイト	○	11-10	ブルー	○	11-0	カンガ ルーズ	○	12-1
通算		7 勝 3 敗			7 勝 3 敗			8 勝 2 敗		

2014オーストラリア遠征選手団名簿 「なでしこ」

役 員

役 職	氏 名	
団長	高橋敏明	TOSHIAKI TAKAHASHI
監督	土屋恵美子	EMIKO TSUCHIYA
総務	蓮沼佐登美	SATOMI HASUNUMA

選 手

	氏 名	
1	重田 英菜	SHIGETA HANA
2	小林 比菜乃	KOBAYASHI HINANO
3	小林 舞香	KOBAYASHI MAIKA
4	内藤 未宇	NAITO MIU
5	小島 柚里	KOJIMA YURI
6	渡邊 朝香	WATANABE ASAKA
7	秋山 まどか	AKIYAMA MADOKA
8	佐藤 愛	SATO MEGUMI
9	増田 汐	MASUDA SHIO
10	有本 遥香	ARIMOTO HARUKA
11	塚本 桜	TSUKAMOTO SAKURA
12	相澤 ありさ	AIZAWA ARISA
13	黒井 まつり	KUROI MATSURI
14	濱田 桃子	HAMADA TOKO
15	村上 美優	MURAKAMI MIYU
16	加藤 柚香	KATO YUZUKA
17	高橋 さくら	TAKAHASHI SAKURA
18	冨永 そら	TOMINAGA SORA

メルボルン遠征は君達に素晴らしい思い出をくれた！

メルボルン遠征団 団長
高橋 敏明

メルボルン遠征の参加者の選手が 44 名、役員 5 名の総勢 49 名が 3 月 25 日成田空港に集合した。選手たちはオーストラリアという初めての海外に旅立とうとしている。私たちの目的は野球を通じての国際交流であり、メルボルンのビクトリア野球連盟のジュニアリーグとは長年の熱い交流が現在の関係を築き上げてきた。ホームステイを通しての遠征は選手たちにとって未知の経験であり、不安と期待の現実の間に胸をときめかしていた事を思い出す。選手がメルボルン遠征から何を学んでくれるだろうか？ 結果として「勇気」、「感動」、「自立」の IBA-boys のスローガンに結びついてくれることを期待したい。

私は今回で 13 回目のメルボルン遠征になる。過去には団長代行をしたことがあるが、今回は協会から団長を任され、その責任の重大さに心が引き締まる思いで有った。私の仕事は選手全員を無事にメルボルンまで引率し、ケガ・事故が無く、素晴らしい思い出を作るお手伝いをし、無事に日本に帰国する事が団長の責任で有ると思っている。

今回の遠征ではシンガポール経由のメルボルン行きという初めての経験も役員の皆様の協力と選手たちの素晴らしい団体行動で無事にメルボルンに到着する事ができた。しかし時には、大きな声で「怒鳴った」時もありましたが……

長かった飛行機の旅も苦痛ではなかったと思う、それは「君達の夢」が始まろうとしているからだと思う、しかし選手は顔には出さないが「不安」の気持ちが現れ始めている事を感じていた、しかし「不安」の気持ちは選手の心から消えていく事になる。

開会式の当日は曇り空から小雨が降り始め、開会式は遅延となり、試合終了後にクラブハウス前で開会式が行われた。開会式の後に「サムライ」から紙屋主将が選手を代表して英語でスピーチをする事になったが、彼は堂々とした態度でスピーチを行った。彼にとって一生に一度の機会を彼はどのような心境で話したのかと思うと、私も心がときめきました。そして、「サムライ・なでしこ」全員による「ふるさと」合唱は素晴らしく、盛大な拍手を頂いたことに感謝を申し上げたい。「久喜」チームのパフォーマンスも素晴らしかった。ホストファミリーの両親・オーストラリアの野球選手たちを巻き込んでのパフォーマンスと終了後の盛大な拍手は選手たちの胸を打ち、思い出の 1 ページに書き込まれたことと思う。「素晴らしかった！」

選手諸君がメルボルンで貴重な体験をした事は君達の一生の財産であると思う。その機会を与えてくれた両親に感謝の気持ちを忘れてはならないと思う。

ホストファミリー家族との貴重な体験は君達の心に残る大きな機会であったと思う。「英語でお話ができなかったら？」と疑問に思った選手諸君は数多くいたと思う。「1 週間のホストフ

ファミリー生活が不安！」と思った選手諸君、振り返って見て欲しい。「問題はなかった」と私は思う。それは「勇気」であり、「勇気」が問題を解決し、「勇気」が貴重な体験を助けてくれたと確信している。私たちメルボルン遠征団は「全員協力」「和」「助け合う心」が大切であったと思う。知らない地区から参加をしている選手たちとの交流、親友ができた人もたくさんいると思う。

メルボルンでの野球交流の中で君たちが得たものは何かを考えて欲しいし、助け合う心が作り出すものが人をどれだけ大きくするかを考えて欲しいと思う。

今大会では「サムライ」に「なでしこ」「久喜」の選手たちの協力があり、助け合う心が大きな思い出を作ってくれたと思う。

君達はまもなく中学に進学すると思うが、中学では英語の授業が始まります。中学校・高校・大学と進学する間、英語は君たちについて来ます。英語からは絶対に逃げることができない学問であります。「逃げるな」「諦めるな」の気持ちを忘れないで欲しい。

君たちは英語の国のオーストラリアで生きた英語を聞き、そして話してきたのだから。貴重な体験は選手諸君の人生のトンネルの入口であり、トンネルを抜けた時に君たちは大きく成長していると思う。その貴重な体験を、素晴らしい思い出を多くの人に話して下さい。なぜなら貴重な体験をした本人だから。

最後に交流にあたり、大変お世話になったビクトリア野球連盟の事務局の方々、ホストファミリーの方々、クラブチームの方々に感謝申し上げます。

～メルボルン遠征～

なでしこ監督 土屋恵美子

桜の蕾が膨らみ始める3月の終わり、チームなでしこ総勢18名は、成田空港で再会、または初の顔合わせをしました。

全国大会を制した千葉の優勝チームから6名、準優勝チームの山梨から7名、愛媛から3名、そして、埼玉から2名。

家族に見送られ、これから起こるメルボルンでの出来事に不安や希望を抱えながらの出発でした。

行きは、トランジットの待ち時間も長く、シンガポール空港の軽食売り場での英語のやりとりに苦戦する子供たちを見ながら、日本には決してできない経験だと感じました。

出発前の説明会の際に、なでしこのキャプテン決めをしました。

清く立候補をしたのが、「ありさ」でした。存在感のある彼女は、
出国から帰国まで、しっかりチームをまとめる頼もしいキャプテンでした。

ようやくメルボルンに着き、市内観光をした後、ホストファミリーが待つ
ウェイバリー球場へ向かいました。
昨年、我が家にホームステイした二人も出迎えに来てくれて、久々の再会を喜びました。
翌日の開会式は、なでしこは優勝旗返還という大役にも臆することなく、
初戦から、素晴らしい試合をしました。
自チームでしっかりと教育されてきた彼女達は、野球のプレー以外の事も
素晴らしかったのです。

会って、一瞬でチームメイトになったにも関わらず、完璧なチームワークで
仲間のエラーや窮地を何度も救いました。
ありさを中心に本当によく声を出していました。
活気があり過ぎて、男の子が押されていた程です。

初のホームステイで、いろいろな悩みもあったようで、
大人になってしまった私には分からない、ほんの些細な出来事を
一緒に悩むのも、楽しい一時でした。
グラウンドを離れば、可愛い女の子なんだと感じました。

試合を重ねるうちに、チームワークは益々強固なものになります。
連日の試合と、暑さで、体力が消耗して行き、
慣れない外国での生活にダウンをする子供が出ないかと心配しましたが
本当に、なでしこの女子は強かった。
野球を通じて、精神的にも肉体的にも鍛錬されて来たのですね。

優勝を逃してしまった事は、残念ですが、全員で全ての試合を戦った事は
子供たちにとって、かけがいのない経験になる事と思います。
本当に伸びやかに、子供たちが野球をする姿に女子野球の未来は
明るいと感じました。

これから先、きっと沢山の壁に行き当たることがあると思います。
その時は、綺麗に晴れ渡った空の下、メルボルンの地で最高の仲間と
野球が出来たことを思い出してください。

ハナ、ヒナノ、マイカ、ミウ、ユリ、アサカ、マドカ、メグミ、シオ、ハルカ、サクラ、アリサ、
マツリ、トウコ、ミュ、ユズカ、サクラ、ソラ、

これからは、野球だけでなく、どんな事にも果敢に挑戦できる勇気のある
女性になってください。応援しています！

～追伸～

中村様　メルボルン滞在中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

久喜チーム監督 吉田様　サムライチーム監督 高橋様

大会中は本当にお世話になり、いい勉強もさせて頂きました。ありがとうございます。

久喜チーム役員 蓮沼様　野田様

10日間、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

戸草内様　渡辺様

背中を押して頂いたおかげで、大変貴重な経験が出来ました。ありがとうございます。



一生の宝物

重田 英菜

私はメルボルンに行ってたくさんの事を学び、素晴らしい思い出が出来ました。特に、英語を頑張りました。私は相手の話していることを聞き取って会話をすることが、とても苦手です。なので、お母さんと発音練習をしました。でも、なかなか上手に話すことが出来ませんでした。

そして、メルボルンに着き、ホストファミリーと話をしようとしても、聞き取ることが出来ませんでした。最初は、ホストマザーのスマホを使って通訳をしてもらっていました。しかし、だんだん慣れてきて、ホストファミリーと会話が出来た時は、本当に嬉しかったです。

楽しかったことは、外国人や「なでしこ」のチームみんなで試合が出来たことです。将来プロ野球選手になりそうな人たちと、同じチームでプレーすることが出来て良かったです。

最初は仲良くしていけるか、とても不安でした。でも相手から話しかけてくれ、最後にはLINEのIDを交換するほど仲良くなりました。私もこんなに仲良くなるとは思っていませんでした。すばらしい仲間と出会えてよかったです。

そして、私が一番お世話になったホストファミリーはとても優しく、何でもしてくれたとてもいい家族でした。カンガルーを見に行ったり、海に行ったり、市電にも乗らせてくれました。でも一番うれしかったことは、ホストファミリーが日本語を話そうと頑張っていたことです。「こんにちは」と言ったり、「市電」と言ったりして努力していた姿が、心に残っています。

ホストファミリーと過ごした楽しかった毎日は忘れません。本当に感謝しています。

メルボルンに行ったことは、一生の宝物です。この宝物が出来たのも、お父さん、お母さんのお蔭です。お父さん、お母さんからもらったこの宝物を無駄にせず、これからの生活に生かしていきたいです。

国際親善交流大会

小林 比菜乃

私はメルボルンに行きました。

メルボルンに着き、観光してからホームステイに行きました。会ったときは、優しい家族でホッとしました。

次の日に試合がありました。雨が降っていました。“さむらい”とオーストラリアのチームと戦いました。2試合とも勝ちました。エラーはしたけど、アウトにできて良かったし、打席は全部フォアボールだったので、全打席、塁に出れて良かったです。

この日はホームステイにちょっと慣れました。

三日目は”鷺宮”と”カンガルーズ”と戦いました。最後らへんで、サードで出ました。ボールは飛んでこず、打席は回ってこなくて残念でした。”鷺宮”には勝って、”カンガルーズ”には負けました。

四日目は”さむらい”と”ブルー”と戦いました。エラーはなくて、打席はセカンドゴロでアウトで、デッドボールが1回ありました。

ホームステイでピザを食べたり、風船で遊んで楽しかったです。

五日目、”ホワイト”と”鷺宮”と戦いました。”ブルー”に勝って、”鷺宮”には負けました。フォアボールが多くて、盗塁もたくさんしました。

次の日も試合が有りました。

最後の日には、カンガルーやコアラなどを見に行き、餌をあげたりしました。ゴルフにもいったり、幼稚園に行ったりもしました。すごく楽しくて、良かったです。

私は、このメルボルンを通して外国の事もわかったし、友達との協力の大切さと、親への感謝の気持ちを持たなければいけない、ということが分かりました。

オーストラリア遠征

小林 舞香

私がオーストラリアに行けるのは11月に行われた大会で山梨女子選抜が準優勝になり、オーストラリアに行ける権利を得たからです。

その時は単純に「楽しそう。行きたいなー」と思っていたのですが、日がたつにつれ山梨県の代表そして日本の代表というプレッシャーと緊張でいっぱいでした。そして3月になり準備などで忙しい中、3月24日には小学校の卒業式があり、さらに忙しかったです。

その5日のち、いよいよオーストラリアに出発しました。最初は、成田空港で「なでしこジャパン」のメンバーに会ったときはみんな緊張し、あんまり話をしませんでした。オーストラリアに着いてからみんな段々としゃべれるようになりました。でもまだ不安がいっぱいの中、ホームステイになりました。英語もしゃべれない私は、必死になってあいさつをしたら、ダドゥーもママもベンも私と未宇を優しく受け入れてくれました。

夜はお土産を渡し、とても喜んでくれました。

次の日、いよいよ試合でした。第一試合目はサムライとやりました。試合では、みんな緊張しながらも勝つことができました。この試合をきっかけにチームのみんなとも仲良くなりました。外国のチームの試合ではやっぱり迫力がちがいで1試合負けてしまいました。

一番良かったことは外国の人と仲良くなれたことです。手話などキャッチボールで交流が深められて本当にうれしかったです。

最終日には、家族と動物園に行ったあと海に行ってベンと未宇とずっと遊んでいました。本当に思い出になりました。

この十日はとっても短い中、たくさんの仲間に出会い良い経験になりました。結果は準優勝でしたが、みんなと交流ができて良かったと思います。そしてたくさんの仲間に出会えたことも忘れず毎日学校生活をがんばっていきたいです。

家族の皆に「ありがとう！！」を言いたいです。

10日間の思い出

内藤 未宇

3月25日、成田空港出発。この日、楽しい仲間たちとの最高の10日間が始まりました。

1日目は、飛行機の中で一日過ごしました。

そして2日目、メルボルンを観光しました。そして、ホームステイ先の家族と合流しました。そして家に向かいました。3人家族で、猫が1匹いました。まずプレゼントを渡しました。喜んでくれて良かったです。

3日目には、オーストラリア国際大会が始まりました。この日は雨が降っていて、開会式は延期になりました。そして、2試合しました。その後に開会式をしました。開会式が終わり、家に戻りました。

4日目にも2試合しました。試合が終わり、ママとベンと舞香と一緒にマーケットに買い物に行きました。

5日目はパフティングビリー蒸気機関車に乗りました。楽しかったです。その後に、球場に行き2試合しました。この日も試合が終わると、ショッピングセンターへ行きました。この日くらいになると、ママとベンとダドウが何を言っているか大体わかってきました。

6日目、この日は午前中は家族とビクトリアマーケットへ行きました。お土産などを買いました。そのあとに球場に行き、2試合しました。試合が終わるとそのままピザを食べに行きました。もうこの時には、本当の家族の様に仲良く、あと3日しか一緒に居れないと考えると、すごく寂しかったです。

7日目、なでしこでできる最後の試合、最後にできる野球だったので、楽しく終わらせようという目標を持ち、精一杯プレーしました。結果は準優勝でした。この日は目標通り楽しい一日にできました。

8日目、この日は最後に家族で過ごせる日でした。本当は動物園だけに行くはずだったけど、未宇と舞香のわがママを聞いてくれて、海にも連れてってもらいました。本当に嬉しかったです。この日があっという間に終わってしまいました。

9日目、この日は家族とお別れの日です。ママやベンとダドウと空港へ行きました。本当は

泣きそうだったけど、泣くとママ達も辛くなるから我慢していたけど、本当に別れるときママが泣いていて、すごくつらかったです。

その後は飛行機の中で過ごしました。

10日目は日本に着き、解団式をして解散しました。

この10日間、たくさんの出会いが有り、別れが有りました。この大会でオーストラリアが大好きになりました。今も辛いことがあると、ママやベンの事を思い出してしまうくらいママやベンが大好きです。

また、この大会でたくさんの貴重な体験が出来ました。そして、新しい夢もできました。またオーストラリアに行きたいです。私をオーストラリアへ連れて行っていただいたみなさん、本当にありがとうございました。

I ♡ IBAベースボール！！

メルボルンに行つて

小島 柚里

私は、試合に勝つてメルボルンへ行けることになり、とても嬉しかったです。

海外は初めてで不安もありましたが、野球が出来るので頑張れそうな気持ちになりました。

成田空港で、日本の選手や監督に会い、仲間が沢山出来てうれしかったです。

オーストラリアについて、ホストファミリーに会い、とても優しくだったので、安心しました。

試合では、出ることが出来てうれしかったし、ヒットが打つて良かったです。言葉が分からなくても、ルールは同じで、アウトとセーフは変わらないことが分かって良かったです。

ホストファミリーの家は、広くてプールもあって驚きました。お兄さんが2人いて、とても優しくしてくれました。

帰る日になり、別れるのが辛くなりました。最後はハイタッチをしてさよならしました。

私は、またいつかメルボルンへ行つて、家族と会いたいです。今度会うまでに、英語をしっかり勉強したいと思います。

メルボルン大会の役員の方々、土屋監督、有難うございました。

メルボルン遠征

渡邊 朝香

小学校2年生から少年野球に入って、活動してきました。

6年生の夏に、山梨女子野球チームに参加して、IBAカップに出場しました。準優勝で、少し残念な思いをしましたが、メルボルン遠征へ行けるチャンスを頂けてうれしかったです。

冬には、オーストラリアの暑さに負けないように体力づくりをしました。出発の3月25日を目指して準備をしていましたが、不安もたくさんありました。洗濯や食事、それから一番不安だったのが英会話です。ジェスチャーで何とかかなると言われていたので、頑張ってみようと思いました。

朝、早く家を出発し、同じ山梨から行くメンバーと元気な顔を合わすことが出来て、嬉しくなりました。

成田空港ではメルボルンに行くメンバーに合流して、いよいよ団結して野球へ取り組む決意が固まりました。家族の見送りを受けて、楽しみにしていた飛行機内での食事、ゲームに映画は楽しい思い出です。

メルボルンに到着すると、日本の寒さとは違い、暑い国だと感じました。

1日目は、メルボルンを観光したり、ホームステイ先の家族と会い、会話や食事をして、楽しく過ごすことが出来ました。

10試合したうち、一番印象に残っているのが、9試合目のカンガルーとの試合です。私は、レフトを守っていました。自分の所に飛んできたボールを捕ることが出来なくて、涙ぐんでたけど、仲間が声をかけてくれたお蔭で、最後まで試合に取り組めました。また、この試合で逆転勝ちが出来て、みんなで大喜びしたのがとても印象に残っています。

試合の中でバッティングの調子が悪くて悔しい思いをしたので、守備を一生懸命プレーすることを心がけていました。

結果は昨年のように全勝とはなりませんでした。が、なでしこの一員として野球が出来たことが、とても楽しかったです。

ホームステイ最後の日に、家族と過ごした動物園や、友達との会話、夜にトランポリンで遊んだこと、楽しくて忘れられません。

次の日、別れるのが寂しかったけれど、空港を目指しました。

日本に帰ってきて卒団式を終えて、家族が迎えに来てくれました。すごく安心しました。そして土産話をしました。空港で友達とお別れしましたが、「みんな遠くに居ても心はつながっている」と思っています。

今回、メルボルン遠征に行き行って学んだことが沢山あります。友達との出会いを大切にすること、ホームステイ先の家族が本当の家族のように接してくれたこと、そして、何事にもチャレンジできる希望や夢を持つことです。

私はこれから中学生になりますが、友達を大切に、勉強と野球を頑張っていきます。

オーストラリアに行って

秋山 まどか

私は、初めオーストラリアに行くことを悩んでいました。なぜなら、飛行機が怖かったり、英語が全く分からなかったからです。

行くきっかけになったのは、英菜が行くと言ったし、外国で野球をやりたいかったからです。オーストラリアに行く前に、山梨に高橋さんが話に来てくれたり、ホームステイ先で一緒に泊まるめぐみちゃんのお母さんと電話で話したりしました。

3月25日になりました。山梨のみんな7人と、お父さん、お母さんたちとバスで成田に行きました。着いた時、千葉の人がいました。千葉は千葉でかたまっていたので、仲良くなれるか心配しました。

お父さんやお母さんと別れた後すぐに、千葉の人と仲良くなれました。良かったです。飛行機に乗り、シンガポールで乗り換えをして、オーストラリアに着きました。着いた時に、外国のにおいて強いなーと思いました。

車で移動しているときに、カラフルな建物が沢山ありました。そして、カンガルーに会いました。グランドに着くと、ホームステイ先の家族に会い、写真を撮りました。とっても優しいお母さんで良かったです。

オーストラリアに来て、次の日から試合が始まりました。試合では、ファーストを守りました。ショートバウンドなどが捕れてよかったです。外国のチームと戦う時には、サインではなく、口で「バント」などと言って、とても楽しかったです。

家に帰ると、オズウィンとウィーでマリオなどをして遊びました。楽しかったです。残りわずかになったころ、ホームステイ先が変わってしまいました。そして新しい家族に会いました。会ってすぐに仲良くなれました。その家には卓球などが有り、夜遊んでいました。

野球が一日休みが有り、動物園に行き、海にも行きました。とても心に残りました。

別れの日がやってきて、さみしかったけど、挨拶がしっかりできました。

飛行機に乗って、日本に帰ってきました。みんなに会えてよかったです。

これからも、野球を頑張っていきたいです。

オーストラリアに行って

増田 汐

私はオーストラリアに行くとき聞いた時、とても楽しみでした。

ですが、不安もあり、心配でした。

自分が野球で日本代表として行っていいものかなど、いろいろ悩みました。

でも、千葉代表の仲間と行く知り、みんなとならば出来ると思い、行く決めました。

オーストラリアに行くため、野球の練習ももっと頑張りました。

オーストラリアに行く日、空港では初めてこれから仲間になる人に会いました。

それから飛行機に乗り、一日かけてオーストラリアに着きました。とても暑かったです。半日観光して、午後ホームステイ先の家族に会いました。すごく緊張しましたが、家に着くととても広く、犬や馬などを飼っていました。ご飯もとてもおいしかったです。

私には一番心に残った試合が有ります。その試合はオーストラリアチーム「カンガルー」との試合です。

10試合の中、2試合カンガルーと試合が有りました。1試合目は負けてしまいましたが、2試合目の時、1点負けての2アウトで、バッターボックスに自分の番が回ってきました。

ランナーが2塁3塁に居て、とても緊張しました。緊張しすぎて、どこに打ったかはよく見えていなかったけど、自分のヒットでランナー2人を還すことが出来ました。

自分で取った点で勝てた時は、私の大切な思い出になり、嬉しかったです。

日本選抜チームでの経験は、とても勉強になりました。結果は2位でした。けれどみんな頑張って取った2位なので、嬉しかったです。

最後の日、ホームステイの家族ともお別れでした。寂しかったけど、みんなの思い出は私の最高の宝物になりました。

オーストラリア遠征に行き、自分に自信や仲間を信じることなど、いろんなことを覚えました。この経験から、直していきたい点や良かった点など、いろんなところで生かしていきたいです。

「オーストラリアに行ってとても良かったです！」。

オーストラリアで学んだこと

有本 遙香

私は、小学生野球生活が終わりを迎えるころ、IBAの大会で初めて海外への切符を手に入れることが出来ました。

最初は興味が無く、話を聞かずに、他の場所を見たりしていたけど、二連覇がかかっていると聞いた時、少しだけ興味を持ちました。

それからはオーストラリアの事を忘れて、普通に練習をしていました。そして、自チームの野球を卒団しました。卒団式で、今までの野球生活を振り返っているうちに、一歩踏み出そうかと考え、オーストラリアに行く決めました。

最初は「まだまだ先の事や」と思っていたら、あっという間に3月になってしまいました。準備をあわてて前日にやりました。最初はほかの県の人と仲良くなれるかなとか、英語は通じるかなと、不安が沢山ありました。その半分、海外に行ける喜びと、兄弟げんかなどが起きな

い喜びもたくさんありました。

そして当日、山梨などから集まり、ナデシコのメンバーがそろいました。最初は話さなかったけど、飛行機などで仲良くなれました。とても嬉しかったです。

夕方、とうとうホームステイの時が来ました。車の中でドキドキしていました。一番最初に、「夜ご飯、何がいい？」と聞かれました。良くわからなかったので、おまかせにしました。すると、マックに連れてってくれました。心の中で「昼もマックやったんやー」と叫びたくなりました。けど、美味しかったです。マックに、合計6~8回行きました。

最初の方は英語が通じなかったけど、2日、3日経つと、だんだん通じるようになるにつれ、絆もさらに深まりました。

最終日のお別れも悲しかったです。

野球では、7勝3敗で優勝は出来なかったけど、あきらめない事の大切さを学ぶことが出来ました。この遠征でいろいろな事を学ぶことが出来ました。この経験を生かして、中学でも頑張りたいです。

I ♡ オーストラリア

塚本 桜

私は、日本代表チーム「なでしこ」として、メルボルンへ行きました。

その中で一番楽しかったことは、試合です。

1試合目は、オーストラリアで初めて野球をするので、ワクワクしていました。

初めて海外で野球をして気づいたことは、内野が芝生だったことです。2試合目、3試合目は、みんなの力で勝ちました。

4試合目は、オーストラリアの「カンガルー」と対戦でした。私たち「なでしこ」には、「2連覇」という目標が有りました。その大きな目標を思い出し、すごくプレッシャーがかかりました。みんなもミスが多く、「カンガルー」には負けました。私は「絶対に全勝してやる。」とっていたので、すごく悔しかったです。

その後も、試合は続きました。でも、5試合目はサムライと戦いましたが、負けてしまいました。サムライに負けるのが一番嫌だったです。

だけど、その後また「カンガルー」との戦いが有りました。その戦いでは、初回に9点も取られて大ピンチでした。ですが、最終回、ランナーが3人いて、汐がバッターで打って、「逆転サヨナラ」を打ちました。すごく感動しました。だから、汐はみんなの[HERO]です。

最後の試合は「ブルー」とやって勝利しました。

結果は、7勝3敗で2位でした。自分はあまりいい成績を残せなかったけど、ベンチにいるときは皆でチームメイトを応援し、友情を深めることが出来ました。

ホストファミリーとの自由な時間では、ビクトリアマーケットに午前中行きました。ビクトリアマ

一ケツトでは、洋服、宝石、刀、キーホルダー、タオルなど、いろいろなものが売っていて、凄かったです。あるお店では、28ドルの物を10ドルにしてもらい、1個18ドルの財布を2個で15ドルにもらって、得しました。

午後はビーチに行きました。ビーチでは、まつりと、まどかと、めぐみと、とうこに会いました。それで、6人で海に入り、波に耐えたり深いところに行ったりして遊びました。また行きたいです。親にも感謝しています。ありがとう！！

最後に、サムライは、優勝したけど、他の助っ人を借りて優勝するのは納得いきません。後、初心者連れてきたのに、助っ人ばかり使うのは、初心者の人にも、その親にも失礼だと思います。もっと試合に出してあげてください。後、助っ人に来てくれた人にちゃんとお礼を言って下さい。

キャプテンとして

相澤 ありさ

私は初めてキャプテンになり始めてキャプテンの仕事をメルボルン国際親善大会という大会で任された事をすごく嬉しく思います。

私は人見知りで最初は他の県の人とは、しゃべれませんでした。でもシンガポールに着いて、みんなでトランプする事になり一部の人とはけっこう仲良くなれました。少しでも団結力を深められて良かったです。オーストラリアに着いて外に出た時に最初にびっくりした事は日本より太陽が近い気がしてすごい暑かったです。

一日バスで観光した後、ホームステイの人が迎えに来て私の名前が呼ばれホームステイ先の人が発表された時、日本人だったのでびっくりしました。他の人は外国人で何を言っているのか分からないと聞いた時日本人で良かったと思ったんですが何日かしてから英語はしゃべれないけど何を言っているか分かるようになったと聞いた時、日本人が良かったのか外国人が良かったのかと思いましたが、やっぱり私的には日本人で良かったなと思いました。私の所のホームステイの人は子供が二人いました。二人とも年下なのに日本語をしゃべっていて、びっくりしました。

次の日から試合があり一日二試合はきつかったけど、すごい楽しかったです。試合でも指示が出せたり声を出せたりして、もう全然はずかしくなくなりました。でも相手が日本のチームとオーストラリアのチームしかなくて残念でしたが、外国のチームと試合ができてすごい楽しかったです。

最高のチームに出会えて良かったなと思います。！！！！

でも初戦が日本のチームですごいけんか売ってきて、そのチームにキレてしまった私なのですが、初対面なのにすごく失礼な事を言われました。それに日本のチームとして来ているので協力するのは当たり前です。でもいくら日本のチームだとしても選手の貸し出しはない

と思います。しかもそのチームが優勝ですよ？おかしいと思いませんか？うちのチーム「なでしこ」から選手を貸し出した時、その選手がミスをし、チームに貢献できなかった時、次の試合からもう「なでしこ」のチームからの選手は大丈夫ですと言われました。もうそのチームの選手、監督には怒りしかありません。私達チーム全員絶対にそのチームには負けたくないと思っていましたが、実力が適わず二位でした。その点では完敗でしたが、試合はガチでやりたかったです。

思い出の10日間！

黒井 まつり

3月25日～4月3日まで、オーストラリアに行ってきた。

3月25日の朝早く、成田空港に行き、そこで家族と別れた。

初めは全然緊張しないで、普通に飛行機の中でみんなとしゃべったり、自己紹介とかしたりして、全然外国に行くという緊張感が全然なかった。

だけど、シンガポールに着くと、すごく蒸し暑く、外国人が沢山いて「ドキッ」とした。「もう外国に来たんだ」と思った。

私が外国に来て、一番最初に困ったことは、英語でしゃべっているので何言ってるかわかんなかったことです。シンガポールで夜食を食べた時に、何を言っているかわからなくて、すごく困った。

そのほかにも、お金が全然違うので、何円出していいのかわからなかった。でも、そこはチームプレイで、みんなで協力して何とか買えた。

そのあと2時間ぐらい、そこでみんなとおしゃべりしたり、トランプをやったりした。

夜中にメルボルン行きの飛行機に乗って、メルボルンに向かった。初めての機内食を食べてみて、正直あまりおいしくなかった。だけど最後までちゃんと食べた。

そのあとはもう夜遅かったので、寝た。

次の日の朝、もう起きた時はメルボルンに着陸寸前だった。

メルボルンに着いてから、初めにバスに乗って観光をした。鳥を見たり、カンガルーを見たり、海にも入った。

その後にホームステイ先の人と会って、ホームステイ先の家に行った。そこはとても広く、土足で家に入ったり、庭が有り、バスケットコートが有った。とても広くびっくりした。

次の日から試合が始まり、歓迎会が有り、あつという間に時が過ぎていき、だんだん別れが近づいて来た。

試合は惜しくも2位で、1位はサムライだった。悔しかった。

家族と自由に過ごしていい日は、ボウリングに行ったりした。スーパーでは家族や友達にあげるお土産を買いに行った。動物園では、なでしこの子と会って、一緒に見たりした。

一番の思い出は海に行ったことです。海では、私と他5人の子と一緒に海で遊んだ。すごく楽しかった。いい思い出になった。

オーストラリア遠征

濱田 桃子

私たちは、10日間オーストラリアに行きました。

みんなとすぐ仲良くなりました。

試合では、みんなずっと笑顔でやっていました。結果は7勝3敗。優勝を狙っていたので、悔しかったです。

しかし、一つ一つのゲームがとても楽しかったので、良かったです。

みんなを応援するのも、もちろん試合に出るのも、とても楽しかったです。

特に心配だったのは英語です。聞き取れるのか心配でした。でも、2、3日経つと、何となくわかるようになり、私が英語を話してみると、通じるようになりました。その時はとても嬉しかったです。

自由時間には、ビーチやボウリング、動物園など、たくさん遊ぶことが出来ました。

なでしこのみんなと出会えてよかったです。あっという間の10日間になり、素晴らしい思い出が出来ました。

経験になったオーストラリア

村上 美優

私は、オーストラリアで学んだことは二つあります。

一つ目は、みんなと声を掛け合う大切さを学びました。

二つ目は、みんなと仲良くなる大切も学びました。

試合では、みんなと助け合いながら、楽しい試合となりました。

準優勝という、とても悔しい試合だったけど、楽しく、仲良くすることが出来て良かったです。

これまで学んだことを生かして頑張りたいと思います。

ホームステイの人とも仲良くでき、とても楽しい毎日を送ることが出来ました。ホームステイの人達に感謝し、これからも頑張っていきたいです。

オーストラリアに居る時間はとても楽しかったです。オーストラリア、サイコーでした。

メルボルン遠征に参加して

加藤 柚香

私は愛媛県から参加しました。愛媛県からは3人参加しました。

成田空港からシンガポールまでの便が朝出発の便だったので、一日早く東京に来て、ホテルに泊まって、朝、空港に行ってみinnと合流して、出発しました。

最初はみんなとなじめず、どうしようかと思っていたけど、同じチームの子が喋りかけてくれて、友達になることが出来ました。

飛行機に6時間ほど乗って、シンガポールに着きました。シンガポールの季節は夏ぐらい暑くて、たくさん汗をかきました。

空港に着いて、高橋さんがみんなにお小遣いをくれました。私はそのお小遣いでジュースとドーナツを食べました。とてもおいしかったです。

その後、また飛行機に乗って、オーストラリアに到着しました。オーストラリアに着くと、バスに乗って観光しました。まず最初に、教会に行って30分間お祈りをした後に、鳥が沢山いる山の中に行きました。山道を走っていると、野生のカンガルーを見ることが出来ました。

ウェーバリー球場に行くと、ホームステイの家族を発表され、その家族と一緒に家に行きました。

家まで車で走っていると、ホームステイのお父さんが何か喋ってきて、わからなかったのですが、ずっと黙っていると、家に着きました。

家はとても大きくて、大きなトランポリンがありました。その日は何もなくて終わりました。

次の日に、メルボルンでの初試合がありました。1試合目はサムライと戦いました。この試合は勝ちました。2試合目はオーストラリアの、ホワイトというチームと戦って、16対0で勝ちました。最後の回にサードで出ました。1球も飛んでこなかったけど、試合に出ることが出来たので良かったです。

家に帰ってから、たくさん遊びました。

次の日は、鷺宮とカンガルーと戦いました。鷺宮には勝てたけど、カンガルーに負けました。カンガルーとの試合は最初から4回まで、ショートで出ました。ピッチャーの球はとても速くて、とてもいい体験をすることが出来ました。

次の日に、足が出せる蒸気機関車に乗って、1時間ほど乗り、途中でコアラを見ることが出来ました。その後、バスに乗って球場に行き試合をしました。相手はブルーで、ホームステイの子供がいるチームでした。結果は勝てたので良かったです。

2試合目はサムライで、ライトで3回まで出ました。結果は、負けて悔しかったです。

次の日に、午前中のフリータイムがありました。大きなお店に買い物に行きました。何も買わなかったけど楽しかったです。

球場に行くと、ホワイトと戦いました。3回レフトを守りました。負けました。

2試合目は鷺宮でした。途中からレフトを守りました。負けました。

次の日は、最後の2試合でした。1試合目はカンガルーで、2試合目はブルーでした。この日は2勝したので良かったです。表彰式で、優勝がサムライと聞いて、とても悔しかったです。

閉会式で、なでしことサムライで「故郷」を歌いました。とても上手に歌えました。

次の日は、1日フリータイムでした。最初はビクトリアマーケットに行って、お土産などいろいろなものを買いました。次に水族館に行って、色々なものを見ました。とても大きなサメやエイなど、色々な種類の魚を見ることが出来ました。

次にランチを食べて、海に行って貝を拾いました。家に帰ってたくさん遊びました。とても楽しかったです。

次の日はとうとうお別れです。とても悲しいです。バスに乗ると、とても涙が出そうになりました。

お別れはとても悲しかったけど、楽しい思い出や、とても貴重な体験が出来たと思います。

オーストラリア遠征に行って

高橋 さくら

私は、3月25日から10日間、日本代表としてオーストラリアに行き、メルボルンでの大会に参加しました。何もかもが初めてで、とてもワクワクしました。

初めての成田空港、初めての飛行機、初めての機内食、初めての飛行機のトイレ、初めての海外、初めてのオーストラリア、初めての海外チームとの対戦などなど、初めてづくしの10日間でした。

大会では、初心者が2人もいるサムライに優勝を持っていかれて、すごく悔しかったです。なでしこは10戦中7勝3敗でした。結果としては優勝できなかったけど、楽しい試合も多かったので、メルボルンの大会はすごく良い思い出です。

個人の方では、キャッチャーとライトで試合に出場しました。打撃は全然ダメだったので、これからさらに努力して、さらに打てるようにします。

ホームステイでは、英語は通じるかどうかとても不安だったのですが、ジェスチャーや単語だけでも通じ、ホッとしました。ホームステイ家族のお父さんが、コックさんで、とても料理がおいしかったです。

フリーの日は、海や動物園、ビクトリアマーケットに行ったりして、とても楽しかったです。

野球の後、家へ帰って、フットボールをしたり、卓球をしたり、ビリヤードをしたりしたことがすごく楽しかったです。

ホームステイ家庭のお母さん、お父さん、ジェイコブ、リアム、本当に有難う御座いました。

この経験が出来たことは、全て、三郷市少年野球連盟の皆さん、IBA-boysの皆さん、今まで野球を教えてくれた監督、コーチの皆さん、今まで支えてくれた親のお蔭です。本当に感謝しています。

次のなでしこの皆さんへ

オーストラリアの野球と日本の野球は、少し違うところが有ります。ボークがボークでなかったり、アウトがセーフになることもあります。そういうところは、大目に見てください。“それがオーストラリアの野球なんだ” と思って下さい。いちいち怒っていると試合時間が短くなります。アウトがセーフになったときは、みんな文句を言います。そりゃ言います。でも、それで試合の流れを渡さないでください。来年こそはなでしこが優勝することを願っています。頑張ってください。

オーストラリア遠征試合に参加して

富永 そら

私は、3月25日から10日間、IBA海外選抜女子代表チーム「なでしこ」の一員として、オーストラリア遠征試合に参加しました。

私自身、初の海外体験のため、出発する前は楽しみと不安が半々くらいありました。でも、飛行機の中で「なでしこ」のみんなとすぐに打ち解け、仲良くなる事が出来ました。

大会期間中は10試合行われ、私は9試合に参加しました。主にレフトの守備に就き、時にサードで出場しました。守備では、大体うまくアウトを取ることが出来ましたが、1回エラーしてしまいました。しかし、チームの頑張りでその試合に勝つことが出来、ホッとしました。

打つ方では、ヒット4本、他にフォアボール、デッドボールでの出塁となりました。もう少し大きなあたりが有ればと、悔しく思いました。こうして、全試合を終えた最終結果は7勝3敗で、準優勝に終わりました。優勝を逃してすごく悔しかったですが、チームの仲間と楽しく試合ができて良かったです。

今回の海外遠征試合で一番驚いた事は、審判が一人でキャッチャーの後ろではなく、ピッチャーの後ろにいるということでした。審判を子供がやっている試合もあり、アウトとセーフのジャッジが日本よりすごく甘い判断ではないかと感じました。

オーストラリアの試合を見て、日本の野球はすごく緻密だと感じました。外国選手の野球は大胆でパワーが有るけど、日本の野球は細かい戦術で1点、1点を取っていく戦い方で、その違いを学ぶことが出来ました。

一方、オーストラリアでの生活では、ホームステイ先の家族とうまくコミュニケーションが取れるか、最初は少し不安でした。そこで、リアクションを大きめにすることで解決できました。

ホストファミリーのお父さん、お母さん、兄弟たちと卓球をしたり、フットボールをしたり、ドッジボールをしたり、野球以外のスポーツも楽しめました。

そのほか、海や動物園に連れて行ってもらいました。カンガルーやワラビーやオウムに触ったり、また海では泳いだり、カヤックを漕いだり、貝拾いをしたりして、自然と触れ合うことが出来ました。

ホームステイ先の方は皆優しく、色々な事で大変お世話になりました。日本では経験できない数々の貴重な体験をすることが出来たことを、幸せに感じています。ここで学んだことを、これからの生活に生かしていけるよう、頑張っていきたいと思います。

最後に、このような貴重な体験を与えてくれたIBA役員の皆さんへ「ありがとう」ございました。











私たちは、少年・少女たちの
野球を通じての国際交流を応援しています。



公益社団法人 少年軟式野球国際交流協会
International Boys Nankyu Baseball Association Inc.
ホームページ https://www.facebook.com/iba_boys
Facebook ページ https://www.facebook.com/iba_boys